



週)報

2013~2014年度))) R I会長)ロン)D・バートン)
『ロータリーを实践して)みんなに豊かな人生を』
))))))))))第 2570 地区ガバナー)中)井)眞)一)郎)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)栗原憲司) 会長エレクト)稲見)淳))副会長)高田虎光) 幹事)宮野ふさ子

【第 3 グループ内の例会日】 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 983 回(2 月 25 日)例会の記録

点 鐘 栗原憲司会長
合 唱 手にて手つないで
第 2 副 S A A 吉川君、吉松君
ピジター 石田 嵩様(新狭山 R C)
有山幸雄様(入会希望者)

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
35 名	28 名	78.13%	78.79%

パスト会長の時間

小澤泰衛パスト会長

『対外交渉について』

日米など 12 カ国が参加する環太平洋経済連携協定(TPP)の交渉は、2013 年妥結という目標を達成できず本年度に交渉が持ち越された。



TPP は、原則として全ての関税を撤廃すると共に、投資や知的財産など貿易に関する様々なルールを統一した自由貿易圏を作ることを目指す協定であるが、13 年 3 月に参加を表明した日本は、農産物の重要 5 項目(米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物)の関税撤廃を巡って全廃を主張する米国と見解が相違し溝が埋まらないばかりか、自動車の関税についても妥協が得られないなど相互の主張は平行線を辿った。同年 12 月にシンガポールで開催された閣僚会合でも、病氣療養中の甘利大臣に代わって出席した内閣府の西村副大臣は米国に対し、「譲れないものは 1 ミリも譲らない」と反論するなどお互いの主張の隔たりから交渉は事実上中断(事務レベルで協議中)している。本年 11 月に議会の中間選挙を控えた米国は TPP を最優先課題と位置付け、次回開催される TPP の閣僚会合で交渉を主導し自国にとって有利な条件で妥結するための主張を展開することが予想される。

TPP 交渉は、参加 12 カ国の国内総生産(GDP)の 80%近くを占める日米間の妥結の有無が鍵を握っており、そして、その帰趨は 21 世紀の日本経済の命運を左右する重要な課題であることから「守るべきものは守り、攻めるものは攻める交渉」を強力に展開して日本の国益を守って頂きたい、と願っている。

ところで、日本人は日本人が持つ特性でもあるが、政治・経済を初めとして様々な問題に関する「対外交渉」を強引に行うことが不得手な人種であることは論を俟たない。

確かに黒船の来航で 200 年以上続いた鎖国時代が終わり海外に門戸を開いた日本は、経済面で初めての対外通貨問題に直面したほか、現在に至るまで為替交渉、経済交渉を初めとした広範な問題について「厳しい対外交渉」に直面してきた経緯はあるが、現在でも交渉力は欧米の方が一枚も二枚も上なのが現状であり、日本主導で世界経済を動かすことができるような交渉力を持てる日は、果たして来るのであろうかと危ぶむ昨今である。それでは、日本が最初に直面したペリーの来航による国際化の幕開けの際の「対外通貨問題」とはどのような事態だったのだろうか。著述家の泉秀樹氏が「歴史のその時」で紹介されている内容は、概略次の通りである。

1853 年(嘉永 6 年)米国の東インド艦隊司令官ペリーが率いる 4 隻の黒船が三浦半島の先端に近い浦賀沖に来航し開国を迫った。国際社会の情報を持っていない日本は混乱・恐慌状態に陥った。幕府首脳は「和親の国禁、交易は国力の衰微の本なり」と言う見当違いな意見もあって何等の対処ができなかったし、知識人も一般大衆もどうして良いのか分からないまま右往左往するばかりであった。ペリーは翌年再来訪することを宣言して去ったが、翌 1854 年(嘉永 7 年)予告通りに再び来日した。この間に幕府も勝海舟など優秀な人材の登用、大船の建造、海軍伝習所の開設など様々な手を懸命に打ってはいたものの全てが手遅れとなり、暗愚な 13 代将軍家定を抱えた幕府は追い詰

ンスピーチをされている方がインターネットにのっておりましたので、何名か読ませて頂きました。しかし読んでみて、皆さん非常に素晴らしいスピーチをされており、読まなければよかったと少し後悔致しました。これは困ったと、ここであまり恥ずかしいお話をするのはどうかと思いつつも、嘘をお話して飾る訳にもいきませんので、私の歩んできた人生を少しでもご紹介させて頂ければと、今日は思っております。

私は 1965 年、東京都練馬区に生まれました。練馬区といいましても、今は都会ですが、今から 50 年近く前はまだキャベツ畑が家の周りにあるような感じで、今の狭山に近いような場所もあり、近くのどぶ川や池でドジョウをとったり、魚釣りをしたりと、自然に恵まれて遊んでおりました。父と母がクリスチャンだったため、子供の頃からずっと教会に行っており、私も中学生になった時に洗礼を受け、その後クリスチャンとして教会に通っておりました。

小学校 4 年生の夏に所沢へ引っ越したのですが、新しい小学校が新設されるということで、5 年生になるときは新設された小学校に移りました。その時は 6 年生がいなかったため、5 年生が最高学年となり、その時の担任の先生が非常にサッカー好きだったため、私もその影響を受け、小学校でサッカーを始め、小学校の 5~6 年生、そして中学校の 3 年間サッカーを続けました。体がそれほど大きくなかったため、あまり得意ではありませんでしたが、一生懸命頑張ってきたつもりです。しかし中学校 3 年生の時に腰を痛めてしまい、椎間板ヘルニアということで、なかなかスポーツができなくなり、結局高校 1 年生のときに手術をすることになったので、残念ながら高校ではサッカーを続けることが出来なくなりました。

その後、私は勉強が嫌いで、恥ずかしながら 1 年浪人をして大学に入りました。大学に入ってから、やはり勉強よりもどちらかというとスキーやテニスといろいろなことをし、今思えば、親にお金をだしてもらいながら、本当に勉強をせず遊んでばかりの学生時代だったと後悔しております。

大学で将来何をしようかと考えていた時、父が同じく司法書士をしておりましたが、父の跡を継ぐのはどうかとずっと考えておりました。その時母親にぼそっと「お父さんは跡を継いで欲しいみたいだよ」と言われ、母親の言葉にはとても弱いので、頑張ってみようと司法書士を目指すことに決めました。今考えると、これが大変なことの始まりだったのではないかと思います。

何度もお話しておりますが、私は勉強が得意ではありませんでしたが、資格を取るためにはかなり勉強をしなければなりませんでしたが、それでも楽観的に、何とかなるだろうと思っておりましたら、全然なんともなりませんでしたが。東京の他の事務所ですと働いていたのですが、仕事が忙しく、なかなか勉強をする時間もとれないまま 3 年

間が経ち、そして一度父の所に戻りましたら、まず仕事よりも勉強をしろということで、仕事をしながら勉強の時間を取らせて頂きました。しかしなかなか成績が上がらず、このままではまずいと 28 歳の時にようやく自分自身心を入れ替え、もう一度まじめに、一から勉強を始めました。

ここですぐに取りれば恰好良い話なのですが、さらにそれから合格するまで 6 年かかってしまいました。普通は大体 3~5 年位で取るか、もしくは諦めるかということになりますが、結局合計で 12 年、資格を取るために頑張りました。資格の良い所は、1 年かかって取ろうが、12 年かかって取ろうが、資格としては同じように扱われます。そして資格が取れるといきなり一人前のように扱って頂き、仕事ができるようになります。父の事務所を受け継ぎましてなんとかやっているとこです。そして 83 歳になる父もまだ現役で頑張っております。

今回、狭山中央ロータリークラブへのお誘いを受ける前に、新狭山ロータリークラブさんからもお誘いを受けたことがあります。それは父が、一時新狭山ロータリークラブに入会していた関係があったからです。その時も良く考えましたが、子供がまだ小さく色々忙しかったため、お断りさせて頂きました。その後古谷さんからお誘いを受け、子供もいづらか手がかからなくなり、昼間の例会であれば参加ができるのではないかとということで、もともと奉仕ということに関しては漠然とした考えではありますが、必要なことであると思っており、個人で何が出来るかということと本当に悩んでしまいますが、ロータリークラブに入会することによって、そこから何かしら社会貢献ができていけば、私の人生にとってもプラスになるのではと考え、今回ロータリークラブに入会させて頂きました。

まだまだ例会に参加する程度で、何もしておらず、今後も何が出来るか私自身わからない状態ですが、もし自分自身が奉仕を通して社会貢献できたと思えることが見つければ、積極的に奉仕活動に参加して行きたいと思っておりますので、今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。



「会員卓話」・・・・・・・・・・

坂本 松男会員

皆さんこんにちは

昨年の9月3日に皆様方の貴重な時間を頂いて、イニシエーションスピーチをさせて頂きまして、誠にありがとうございました。



その時の例会スケジュールが、多少ずれ込んでいた為、私の場合、原稿を用意してお話しをさせて頂こうと思っておりましたところ、時間の関係で、全てお話しすることができませんでしたので、皆様方のご了解の下、予め用意してありました、原稿を週報に掲載させて頂きましたので、イニシエーションスピーチは終わったことと、思っておりましたところ、先般、益子プログラム委員長より、再度、依頼がありましたので、お話をさせて頂きたいと思いましたが、「業界用語で材料出尽くし」と言う言葉がありますが、私の場合は、材料を出し尽くしとなりましたので、困っております。そこで、新しい年を迎えるに当り、一年の計は元旦にありと良く言われますが、私も、毎年、新年を迎えるたびに、テーマと言おうかスローガンを心に掲げながら、そのテーマに向って、少しでも目標や、目的が、叶えられるように、心がけて行動をして来ましたが、平成26年の、心がけたテーマは「学び準備する年」と致しました。その内容について、貴重なお時間をお借りしてお話しをさせて頂きたいと思っております。

平成10年12月まで、私が営んできました、川越ガスを、M&Aによって退職した、翌年、平成11年6月に、所沢市内に桑の実会という、社会福祉法人がありまして、事業の運営内容は、「特別養護老人ホーム」、「介護老人保健施設」、「グループホーム」、「ケアハウス」、「介護つき有料老人ホーム」、「ディサービス」等と「保育園」も行っている、社会福祉法人、桑の実会に、評議委員2年、理事4年、監事4年間の、平成21年5月まで、10年間ボランティアで、関わってきたこともありましたが、また、ロータリークラブでの、職業分類では、寶積先生の多大なる、ご配慮によって、医療関係で、医療法人尚寿会顧問となっております関係から、最近特に、新聞、テレビ等の、マスコミがニュースで、よく取り上げております、「社会保障制度」「少子高齢化」「診療報酬改訂」「介護」等々に、再び関心を持つようになり、過去の関わりの中で、良く耳にした、用語でもあり、比較的容易に、理解することもできますので、雑学で憶えたこととも含め、間違ったり、異なった認識もあると思っておりますが、「社会保障制度」について、触れてみたいと思っております。

社会保障制度とは、私たち一人ひとりが、自らの責任と、努力によって、生活を営んでいますが、

「病気」や「怪我」、「老齢」や「障害」「失業」などにより、自分の努力だけでは、解決できず自立した生活を、維持出来なくなる場合も生じます。この様な、個人の責任や、努力だけでは、対応出来ないリスクに対して、相互に連帯して、支えあい、それでもなお困窮する場合には、必要な生活保障を行うのが、社会保障制度の役割です。

社会保障制度は、私たちの生活を守る、セーフティネットの、機能を持っています。その保険の種類は、具体的に、「健康保険」、「年金保険」、「介護保険」、「労働災害保険」等々があります。少子高齢化社会の中で、持続可能な安定した財源の確保によって、社会保障制度を守るため、今年の4月から消費税を8%に引き上げを盛り込んだ、社会保障と税の一体改正関連法案は、一昨年、野田政権の基で、成立させ、その後、野田総理は衆議院を解散し、総選挙の結果、自民党が圧勝し、安部政権が誕生いたしました。

安部政権が、打ち出した「経済政策」、いわゆる「アベノミックス」が登場し、すなわち、三本の矢として、「異次元の金融緩和」「機動的な財政運営」「成長戦略」から構成され、その結果、日本の景気は一昨年の11月を、底として拡大局面に入ったと考えられ、更に、景気と先行きに、明るさをもたらしたのが、昨年9月7日に、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催の決定でもあり、日本の景気は、かなりの勢いで、好転した状況が見られ、現在、通常国会に提出され、審議されている予算案も、政府が昨年12月24日に、閣議決定した2014年度予算案が発表されると、新聞の見出しでは、予算案「安部カラー」という大きな見出しのもと、「防衛費2.2%伸び」、「原発対応国が前面に」と言うサブ見出しが、躍るなどしておりますが、その反面「社説の見出し」の中で、「財政再建への一歩」と言えるかという、論評の中で、最大の問題は、歳出全体の3割を占める、社会保障の膨張と、高齢化の進展などで、自動的に増える自然増への切込みが不足、診療報酬の増額改訂には、疑問が残るという指摘もありました。

また、医療機関等で、購入する備品や、消耗品にも消費税が5%~8%に3%増になること等を考慮すると、新聞の社説で書かれているように、私は診療報酬の、増額にはなっていないと思っております。

また、医療費の削減は、1980年代医師の抑制政策や、医療費の引き下げから始まり、記憶に新しいところでは、郵政民営化等で、華々しく活躍され、5年5ヶ月の長きの政権を、担当した小泉総理の基では、2006年にスタートした、医療制度改革の中で、介護報酬の4.7%の引き下げ、診療報酬の3.16%の引き下げ、更には後期高齢者医療制度の新設、療養病床38万床から15万床とすることを、目標とすること等が行われ、現在の安部政権では好循環型、デフレ脱却等のいわゆる「アベノミックス」の掛け声の裏側では、初診料、再診料等も含め、2年に一度の診療報酬の、改訂も含めた「医

)
)
ニコニコボックス



石田 嵩様(新狭山RC) いつもお世話になりありがとうございます。
栗原(憲)君 新狭山RC・石田様、住協建設・有山様、ようこそお出で下さいました。
小澤パスト会長、会長の時間よろしくお願ひ致します。
宮野君 住協建設・有山様、新狭山RC・石田様、ようこそお出で頂きました。
佐々木会員、坂本会員、スピーチよろしくお願ひ致します。
江原君 イニシエーション・スピーチをお願いしています佐々木様、会員卓話をお願いしています坂本様、本日、お話し楽しみにしております。何卒よろしくお願ひ致します。

稲見君 新狭山RC・石田様、ようこそお出で頂きました。入会予定の有山幸雄様よろしくお願ひします。古谷増強委員長の頑張りに敬服です。坂本会員、佐々木会員、お話しが楽しみです。
栗原(成)君 今日はニコニコではなく、シブシブでお願ひします。収入無く、体を痛め、散々な思いをしました。雪はスキー場だけにしてもらいたい物です。
中谷君 坂本さん、佐々木さん、本日の卓話よろしくお願ひします。
坂本君 皆様の貴重なお時間をお借りして、卓話をさせて頂きます。

第一生命 サラリーマン川柳 2014 より
10点載せてみました。
共感できるものがありますか？

- ・「いつやるの？ 聞けば言い訳 倍返し」
- ・「センターは 選挙もなしに いつも妻」
- ・「オレオレ」に 爺ちゃん一喝 「無礼者！」
- ・もの忘れ べんりな言葉 「あれ」と「それ」
- ・飯あるの？ 寝ている妻から 「時間外」
- ・誰やるの 炊事洗濯 僕でしょう
- ・帰宅して うがい手洗い 皿洗い
- ・壇蜜は どんな和菓子か 店で聞く
- ・えっわ・た・し？ 席を譲られ 聞き返し
- ・休みより 心落ち着く 出勤日

次の例会 第2副SAA 寶積君 片山君
3月11日(火) 12:30~13:30
外来卓話 埼玉りそな銀行 狭山地域統括
狭山支店支店長 登 和 弘 様